

2017年11月30日
学校法人関西大学財務局

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する

グリーンボンドへの投資について

学校法人関西大学は、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するグリーンボンドへの投資を行いましたのでお知らせいたします。

グリーンボンドは、CO₂やNO_xの削減等の環境改善効果を有する事業を資金使途とする債券であり、本債券は、同機構が都市鉄道利便推進事業として新設路線を開業するための工事資金として使用されます。

この新設路線が開業することにより、バスや自動車の利用が抑制され、CO₂及びNO_xの排出量削減が見込まれます。具体的には、CO₂の削減量は年間約1,800トﾝ（杉の木約2.3㎥（東京ドーム約49個分に相当））、NO_xの削減量は年間約18トﾝが想定されます。

また本債券は、2017年3月に公表された「環境省グリーンボンドガイドライン」への準拠を確認されたモデル発行事例として、初のグリーンボンドになります。

本法人は適切なリスク管理の下、今後も同様の投資を継続し、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めて参ります。

【ご参考】

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構HP（グリーンボンド発行実績）

<http://www.jr-tt.go.jp/05Ir/ir-saikenResult.html>